

WORDPRESS

集客用WEBサイト最適化 初期セットアップマニュアル

実践Web集客プログラム

カウンセラー
コンサルタント
セラピスト
フリーランサー
必見！

WORDPRESSを使ってみてわかった。
なぜオリジナルのWebサイトが
集客に最適なのかが。

はじめに

当マニュアルは、Web サーバーにインストールした WordPress を Web 集客用に最適化するためのセットアップマニュアルです。そのため、前提事項として下記の作業が完了している必要があります。

- レンタルサーバーの契約が済んでいること
- 独自ドメインの契約が済んでいること
- Web サーバーに WordPress がインストールされていること
- Web サーバーに WordPress のインストールが完了していること
- (任意) Web サーバーで独自 SSL の設定が完了していること (https の有効化)

注意事項

著作権について

「集客用 Web サイト最適化初期セットアップマニュアル」(以下本マニュアル) は著作権法で保護されている著作物となります。本マニュアルの使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

1. 本マニュアルの著作権は北島孝弘に属します。
2. 著作権者の許可を得ずに、本マニュアルの一部または全部をあらゆるデータ蓄積手段 (印刷物、ビデオ、CD、DVD、テープレコーダなどの電子メディア、インターネットサーバ等) により複製、転載することを禁じます。

使用承諾について

1. 本マニュアルに含まれる情報は、著作権法によって保護されております。あなたは著作権者との書面による事前許可を得ずして出版及び電子メディア等の配信により、一般公開並びに転売してはならないものとします。
2. 本マニュアルを使用した結果、万一損害が生じた場合において著作権者は責任を負わないものとします。

目次

WordPress の初期設定.....	1
サイトタイトルの設定.....	2
URL の変更 (https 化)	3
更新情報サービスの登録.....	4
ディスカッションの設定.....	6
パーマリンクの設定.....	7
テーマのインストール.....	8
プラグインのインストール.....	10
プラグインの設定.....	11
All In One SEO Pack.....	11
Google XML Sitemaps.....	15
PuSHPress.....	15
WordPress Ping Optimizer.....	15
WordPress Popular Posts.....	15
WP Multibyte Patch.....	16
AddQuicktag.....	16
Contact Form 7.....	16
テーマのカスタマイズ.....	17
CTA (コールトゥアクション) の設定.....	21
テーマ (Xeory Base) のダウンロードとインストール.....	22
テーマのダウンロード.....	22
GoogleSearchConsole 設定.....	24
Google アナリティクス設定.....	30
チェックシート.....	34

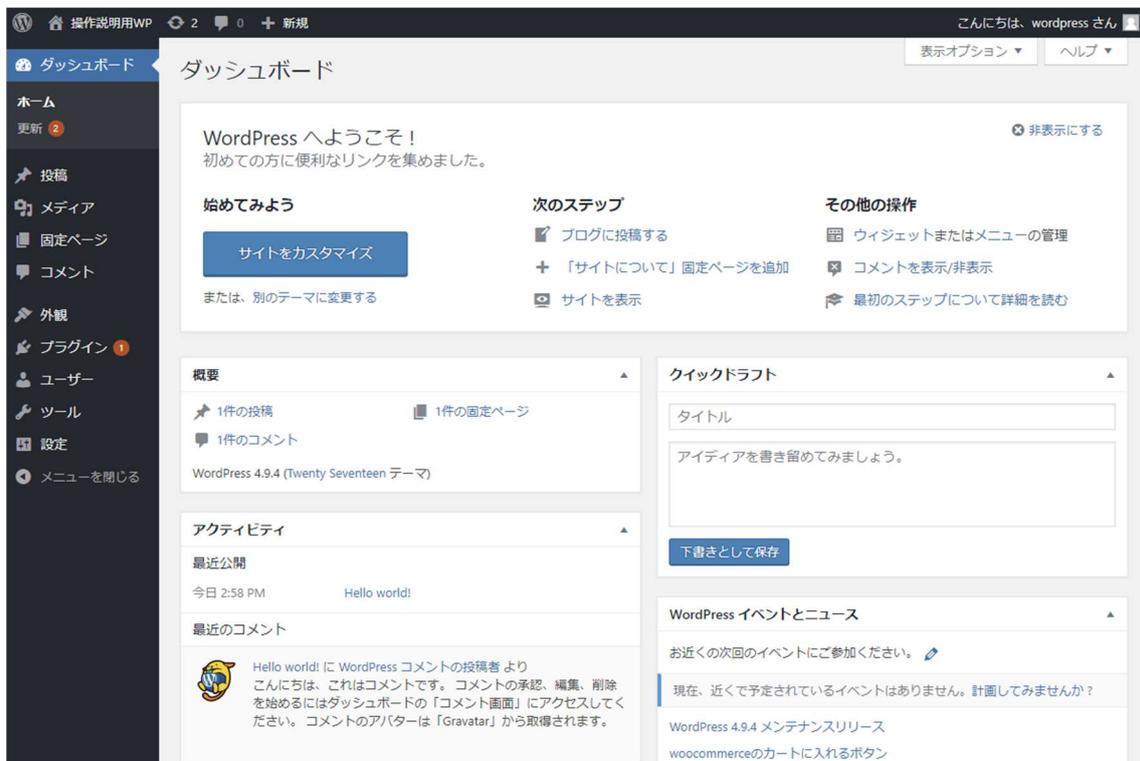
WordPress の初期設定

WordPress の管理画面に WordPress インストール時に決めたログイン ID とパスワードを使用してログインします。

ログイン画面 URL → `http://[あなたのドメイン名]/wp-admin`



管理画面が表示されればログインが完了となります。



サイトタイトルの設定

「サイトのタイトル」に任意のタイトルを入力します。

「キャッチフレーズ」は空にします。

一般設定

サイトのタイトル	<input type="text" value="XXXXXXXXXX"/>
キャッチフレーズ	<input type="text" value="Just another WordPress site"/> <small>このサイトの簡単な説明</small>
WordPress アドレス (URL)	<input type="text" value="http://XXXXXXXXXX"/>
サイトアドレス (URL)	<input type="text" value="http://XXXXXXXXXX"/> <small>サイトのホームページとして WordPress のインストールディレクトリとは異なる場所を設定 アドレスを入力してください。</small>
メールアドレス	<input type="text" value="XXXXXXXXXX"/> <small>このアドレスは管理のために使用されます。このメールアドレスを変更すると、確認のため メールを送信します。新しいアドレスは確認が済むまで有効化されません。</small>
メンバーシップ	<input type="checkbox"/> だれでもユーザー登録ができるようにする

URL の変更 (https 化)

※この設定はレンタルサーバー側の設定で独自 SSL を有効にした後に実施してください。

(「<https://あなたのドメイン名/>」にアクセスして正常に Web サイトが表示されれば OK です) 独自

※独自 SSL を使用しない場合はお手順「URL の変更 (https 化)」を実施しないでください。

WordPress アドレス (URL)及び、サイトアドレス(URL)のフォームに表示されているアドレスの”http://”部分を <https://>に変更します。

※変更直後は一度自動的にログアウトされる場合があります。

※独自 SSL が有効になっていない場合、エラーとなり WordPress にアクセスできなくなりますので注意してください

一般設定

サイトのタイトル

キャッチフレーズ
このサイトの簡単な説明。

WordPress アドレス (URL)

サイトアドレス (URL)
[サイトのホームページとして WordPress のインストールディレクトリとは異なる場所を設定するには、このリンクをクリックして URL を入力してください。](#)

メールアドレス
このアドレスは管理のために使用されます。このメールアドレスを変更すると、確認のためメールを送信します。新しいアドレスは確認が済むまで有効化されません。

メンバーシップ だれでもユーザー登録ができるようにする

更新情報サービスの登録

管理画面左側メニューから「設定」→「投稿設定」をクリックします。

画面下にある「更新情報サービス」の入力フォームに下記の url をコピーして貼り付けます。

<http://rpc.pingomatic.com/>

<http://api.my.yahoo.co.jp/RPC2>

<http://bulkfeeds.net/rpc>

<http://blog.goo.ne.jp/XMLRPC>

<http://blogsearch.google.co.jp/ping/RPC2>

<http://coreblog.org/ping/>

<http://ping.bloggers.jp/rpc/>

<http://ping.blogmura.jp/rpc/>

<http://ping.cocolog-nifty.com/xmlrpc>

<http://ping.exblog.jp/xmlrpc>

<http://www.blogpeople.net/ping/>

投稿設定

投稿用カテゴリーの初期設定

デフォルトの投稿フォーマット

メールでの投稿

メールを利用して WordPress に投稿するには POP3 アクセスができる秘密のメールアドレスを設定してください。このアドレスで受信されたすべてのメールが投稿されるので、使用するアドレスは秘密にしておいたほうがいいでしょう。よろしかったら、以下 3 つのランダムな文字列をご利用ください: 00iibFrt, ZmTrvHco, Dd4YzYL0

メールサーバー ポート

ログイン名

パスワード

メール投稿用カテゴリーの初期設定

更新情報サービス

新しい投稿を公開すると、WordPress は次のサイト更新通知サービスに自動的に通知します。詳細は Codex の [更新通知サービス](#) を参照してください。複数のサービスの URL を入力する場合は改行で区切ります。

<http://rpc.pingomatic.com/>
<http://api.my.yahoo.co.jp/RPC2>
<http://bulkfeeds.net/rpc>
<http://blog.goo.ne.jp/XMLRPC>
<http://blogsearch.google.co.jp/ping/RPC2>
<http://coreblog.org/ping/>

貼り付けたら、「変更を保存」ボタンをクリックします。

実践 Web 集客プログラム
集客用 Web サイト最適化初期セットアップマニュアル

ディスカッションの設定

管理画面左側メニューから「設定」→「ディスカッション」をクリックします。

ディスカッション設定画面が表示されるので、「新しい投稿へのコメントを許可する」からチェックを外します。

また「コメントの手動承認を必須にする」にはチェックを入れます。

ディスカッション設定

投稿のデフォルト設定

- この投稿に含まれるすべてのリンクへの通知を試みる
- 新しい記事に対し、他のブログからの通知 (ピンバック・トラックバック) を受け付ける
- 新しい投稿へのコメントを許可する
(これらの設定は各投稿の設定が優先されます。)

他のコメント設定

- コメントの投稿者の名前とメールアドレスの入力を必須にする
- ユーザー登録してログインしたユーザーのみコメントをつけられるようにする
- 14 日以上前の投稿のコメントフォームを自動的に閉じる
- コメントを 5 階層までのスレッド (入れ子) 形式にする
- 1ページあたり 50 件のコメントを含む複数ページに分割し、 最後 のページをデフォルトで表示する
- 古い コメントを各ページのトップに表示する

自分宛のメール通知

- コメントが投稿されたとき
- コメントがモデレーションのために保留されたとき

コメント表示条件

- コメントの手動承認を必須にする
- すでに承認されたコメントの投稿者のコメントを許可し、それ以外のコメントを承認待ちにする

コメントモデレーション

2 個以上のリンクを含んでいる場合は承認待ちにする (コメントスパムに共通する特徴のひとつに多数のハイパーリンクがあります)。

最後に「変更を保存」ボタンをクリックします。

パーマリンクの設定

管理画面左側メニューから「設定」→「パーマリンク」をクリックします。

「カスタム構造」を選択して、フォームに「`/%category%/%postname%/`」を入力します。

パーマリンク設定

WordPress では、パーマリンクやアーカイブにカスタム URL 構造を使うことができます。URL をカスタマイズすることで、リンクの美しさや使いやすさ、そして前方互換性を改善できます。利用できるタグはたくさんありますが、以下にいくつか試していただける例を用意しました。

共通設定

基本 `http://[redacted]?p=123`

日付と投稿名 `http://[redacted]2018/03/16/sample-post/`

月と投稿名 `http://[redacted]2018/03/sample-post/`

数字ベース `http://[redacted]archives/123`

投稿名 `http://[redacted]/sample-post/`

カスタム構造 `http://[redacted]/%category%/%postname%/`

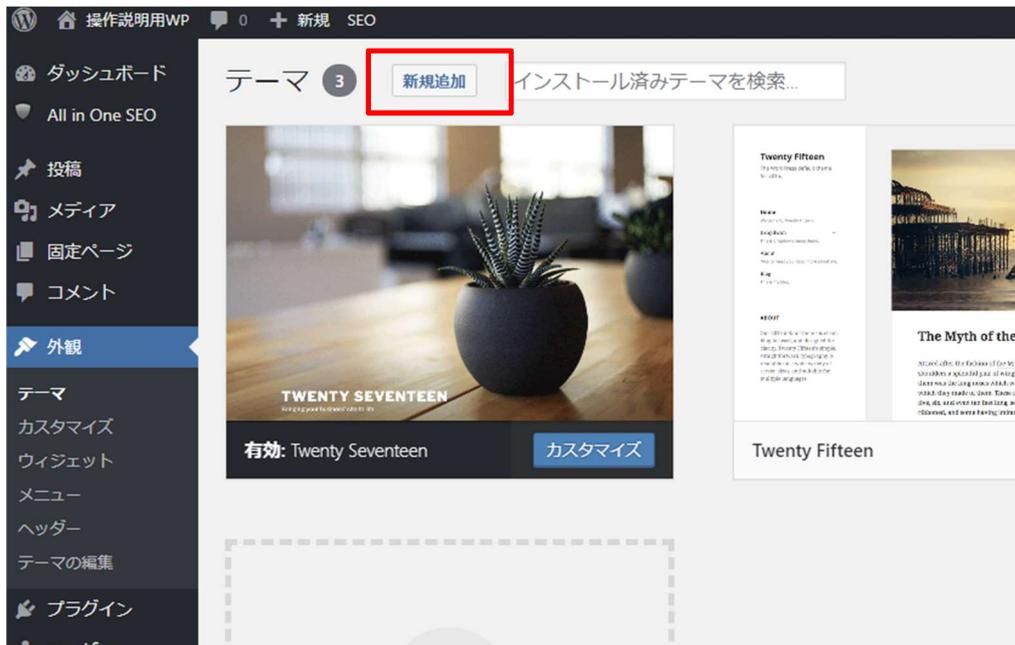
利用可能なタグ:

最後に「変更を保存」ボタンをクリックします。

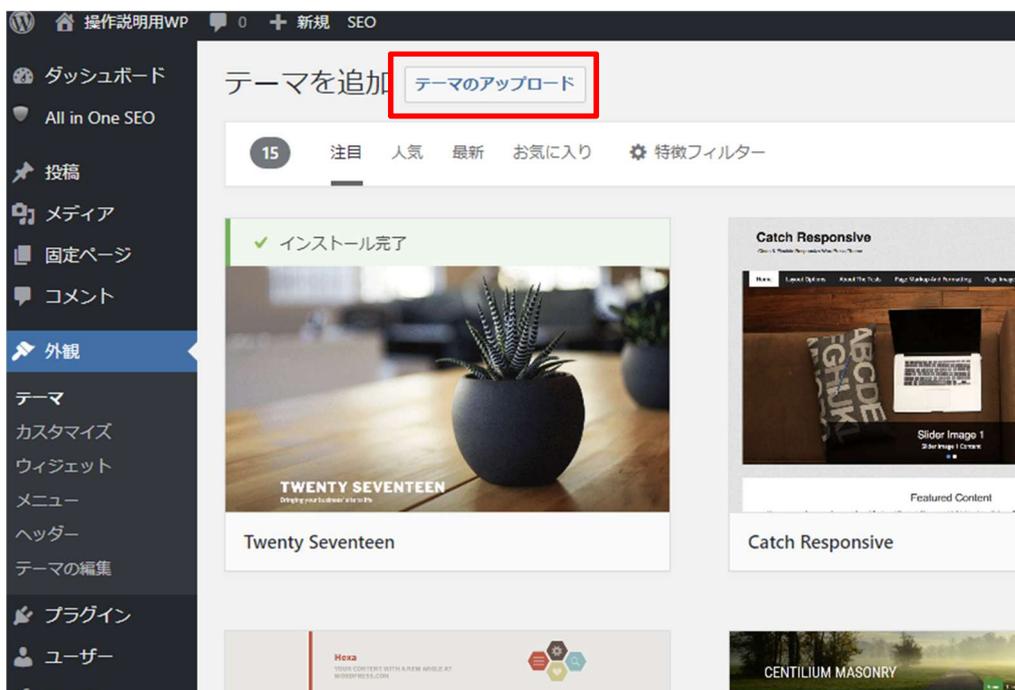
テーマのインストール

WordPress 管理画面の左メニューから「外観」を選択します。

テーマ画面が表示されるので、上部の「新規追加」をクリックします。



テーマを追加画面が表示されるので「テーマのアップロード」をクリックします。



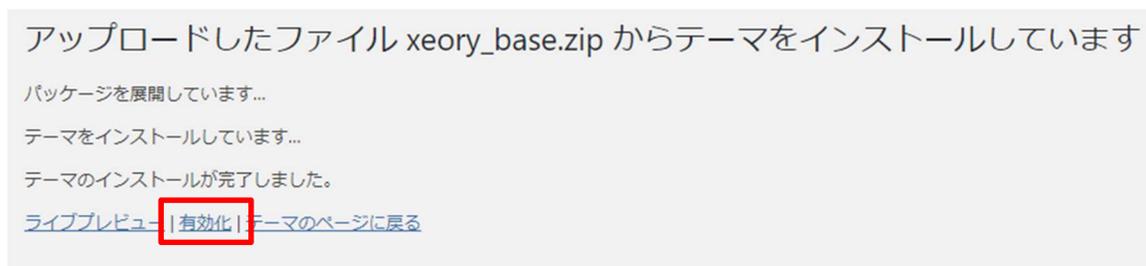
実践 Web 集客プログラム 集客用 Web サイト最適化初期セットアップマニュアル

「ファイルを選択」ボタンをクリックして、[別手順](#)で既にダウンロードしているテーマファイル、もしくはご自身で準備したテーマファイルを選択します。

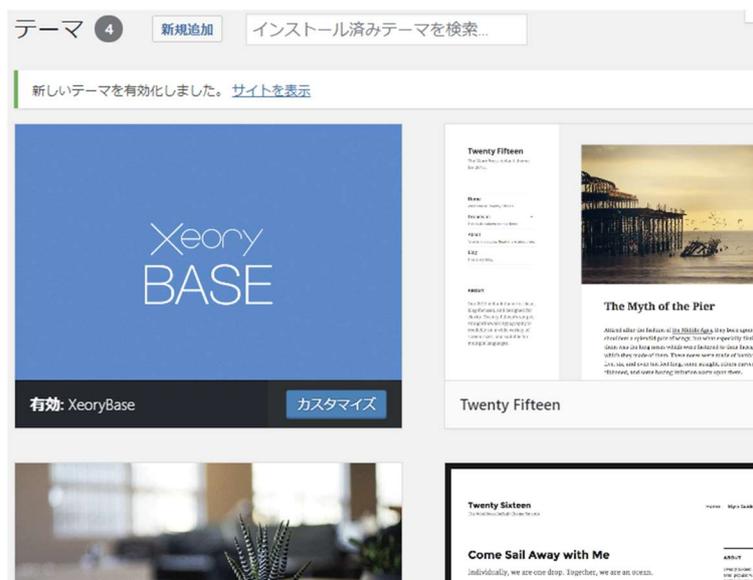
テーマファイルを選択したら「今すぐインストール」ボタンをクリックします。



画面が変わるので「有効化」の文字列をクリックします。



選択したテーマが有効になったことを確認します。



プラグインのインストール

WordPress で Web サイトを運営していくにあたり、必要最小限のプラグインをインストールします。

インストールするプラグインは下記のとおりです。

1 つずつインストールしていきます。

All In One SEO Pack	 <p>All in One SEO Pack 今すぐインストール</p> <p>詳細情報 2007年から3,000万回以上ダウンロードされているSEOプラグインです。 作成者: Michael Torbert</p>
Google XML Sitemaps	 <p>Google XML Sitemaps 今すぐインストール</p> <p>詳細情報 This plugin will improve SEO by helping search engines better index your site using sitemaps. 作成者: Arne Brachhold</p>
PuSHPress	 <p>PuSHPress 今すぐインストール</p> <p>詳細情報 Add WebSub (formerly known as PubSubHubbub) support to your WordPress site, with a built in hub. 作成者: Joseph Scott & Automattic</p>
WordPress Ping Optimizer	 <p>WordPress Ping Optimizer 今すぐインストール</p> <p>詳細情報 あなたのワードプレスのブログを ping spammer としてタグを付けないように保存します。このプラグイン。 作成者: Pankaj Jha</p>
WP Multibyte Patch	 <p>WP Multibyte Patch 有効 詳細情報</p> <p>WordPress 日本語版パッケージのためのマルチバイト機能の拡張。 作成者: Seisuke Kuraishi</p>
AddQuicktag ※インストールは任意です	 <p>AddQuicktag 今すぐインストール</p> <p>詳細情報 AddQuicktag は HTML エディター・ビジュアルエディターへのクイックタグの追加を容易にします。 作成者: Frank Bültge</p>
Contact Form 7 ※インストールは任意です	 <p>Contact Form 7 今すぐインストール</p> <p>詳細情報 お問い合わせフォームプラグイン。シンプル、でも柔軟。 作成者: Takayuki Miyoshi</p>

プラグインの設定

プラグインをインストールし有効にした後、管理画面の左側メニュー内から各プラグインの設定を行います。

All In One SEO Pack

・ホームページ設定

「ホームタイトル」に全角 30 文字以内で Web サイトのタイトルを入力します。

「ホームディスクリプション」に全角 250 文字以内で Web サイトの概要を入力します。

ホームページ設定

ホームタイトル: 0 characters. Most search engines use a maximum of 57 chars for the ホームタイトル.

ホームディスクリプション: 0 characters. Most search engines use a maximum of 320 chars for the ホームディスクリプション.

代わりに固定フロントページを利用する 有効 無効

・タイトル設定

「投稿タイトルのフォーマット」を” %post_title% | %blog_title%”から” %post_title%”に変更します。

タイトル設定

タイトルを書き換える: 有効 無効

ホームページタイトル形式: %page_title%

固定ページタイトルフォーマット: %page_title% | %blog_title%

投稿タイトルのフォーマット: %post_title%

カテゴリータイトルのフォーマット: %category_title%

・カスタム投稿タイプ設定

「SEO を行う投稿タイプ：」で投稿、固定ページ、LP にチェックを入れます。

※使用するテーマによっては存在しない項目もあります。

カスタム投稿タイプ設定

ヘルプ

カスタム投稿用の SEO

有効
 無効

このサイトのカスタム投稿タイプで All in One SEO Pack を使用する場合は、これをチェックします。
[この設定の説明はここをクリック \(英語\)](#)

SEO を行う投稿タイプ:

投稿
 固定ページ
 メディア
 oEmbed Response
 CTA
 LP

これらのチェックボックスを使用して、All in One SEO Pack を使用する投稿タイプを選択します。
[この設定の説明はここをクリック \(英語\)](#)

詳細設定を有効化:

有効
 無効

・表示設定

「カスタム投稿タイプの列ラベルを表示：」で投稿、固定ページ、LP にチェックを入れます。

※使用するテーマによっては存在しない項目もあります。

表示設定

ヘルプ

カスタム投稿タイプの列ラベルを表示:

投稿
 固定ページ
 メディア
 oEmbed Response
 CTA
 LP

これにより、SEO タイトル、SEO キーワード、および SEO 記述の列を表示する画面を選択できます。
[この設定の説明はここをクリック \(英語\)](#)

・ウェブマスター認証

「Google ウェブマスターツール:」に GoogleSearchConsole で取得した、サイト認証用 meta タグのコードを入力 (コピーして貼り付け) します。

※[GoogleSearchConsole の設定方法はこちら](#)

ウェブマスター認証

ヘルプ

Google ウェブマスターツール:

Google Webmaster Tools に認証されるために認証コードを入力してください。
[この設定の説明はここをクリック \(英語\)](#)

Bing Web マスターセンター:

Pinterest のサイト検証:

・ Google 設定

「Google アナリティクス ID :」に Google アナリティクスで取得したトラッキング ID を入力します。

※[Google アナリティクスの設定方法はこちら](#)

The screenshot shows the 'Google 設定' (Google Settings) panel. It includes several options: 'Google+ デフォルトプロフィール:' (empty text input), 'Google+ プロフィールを無効化:' (checkbox), 'サイトリンク検索ボックスを表示:' (checkbox), '優先サイト名を設定:' (checkbox), '高度な作成者情報オプション:' (radio buttons for '有効' and '無効', with '無効' selected), and 'Google アナリティクス ID:' (text input containing 'UA-*****-1'). The 'Google アナリティクス ID' field is highlighted with a red box.

・ 詳細設定

「ディスクリプションを自動生成:」にチェックを入れます。

※これは記事を作成した際などでディスクリプションの設定をし忘れた時に、自動的に記事内の文章を設定してくれる機能です。

The screenshot shows the '詳細設定' (Detailed Settings) panel. It includes several options: 'ディスクリプションを自動生成:' (checkbox checked), '自動生成説明文に本文を使用:' (checkbox), '自動生成された説明でショートコードを実行:' (checkbox), and 'ページ区切り付きペ' (checkbox). The 'ディスクリプションを自動生成:' checkbox is highlighted with a red box.

- キーワード設定

「キーワードを使用：」で有効にチェックを入れます。



Google XML Sitemaps

Sitemap.xml を自動生成してくれます。

Google (SeachConsole) にページ情報の存在を伝えられるようになります。
設定は不要です。

PuSHPress

記事投稿時に自動的に Google へ index 依頼をするために使います。
設定は不要です。

WordPress Ping Optimizer

記事投稿時に ping と呼ばれる更新通知を送信するために使います。
設定は不要です。

WordPress Popular Posts

Web ページに「人気の記事」としてよく読まれている記事の一覧を表示させることができます。

ここでは設定は不要です。別手順のテーマのカスタマイズでウィジェット設定を行います。

WP Multibyte Patch

WordPress を日本語の環境で使用するために使います。
設定は不要です。

AddQuicktag

WordPress での記事作成時に、よく使うタグを登録しておくことができます。
必要に応じて設定します。

Contact Form 7

お問い合わせフォームをかんたんに作る機能が使えるようになります。
必要に応じて設定します。

テーマのカスタマイズ

管理画面内の左メニューから「外観」→「カスタマイズ」をクリックします。



カスタマイズ画面が表示されるので、左メニューから「ウィジェット」をクリックします。

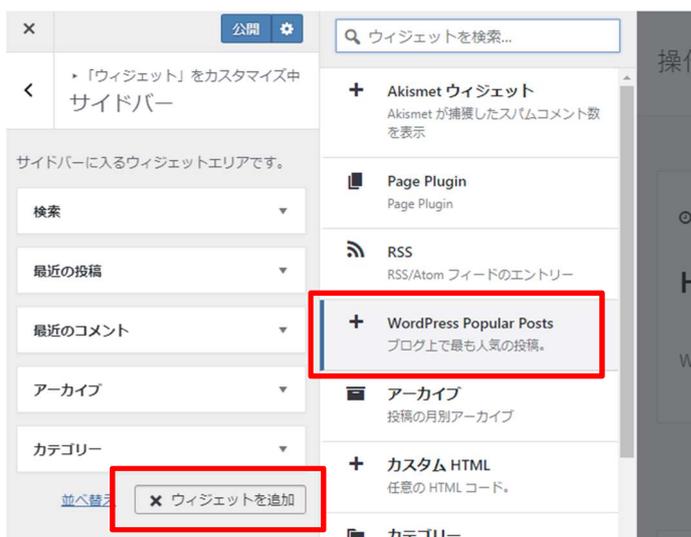


実践 Web 集客プログラム 集客用 Web サイト最適化初期セットアップマニュアル

ウィジェット画面が表示されるので、左メニューから「サイドバー」をクリックします。



サイドバー画面が表示されるので、左メニューから「ウィジェットを追加」ボタンを押して、「WordPress Popular Posts」を追加します。



追加後、「WordPress Popular Posts」をドラッグしたままカーソルを上下に移動すると、ウィジェットの並び順を変えることができるので、「検索」の下に移動させます。



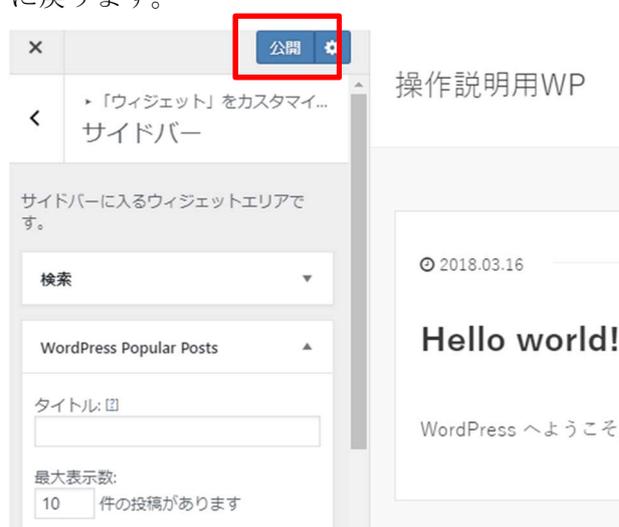
移動後、「WordPress Popular Posts」の設定を下記の通り変更して完了をクリックします。

- ・ タイトル：よく読まれている記事
- ・ 最大表示件数：5 件
- ・ 計測期間：過去 30 日間
- ・ 投稿設定：「メイン画像を設定を表示」にチェックを入れる
- ・ 統計タグの設定：すべてのチェックを外す

次に、ウィジェット一覧から「メタ情報」を削除します。



最後に画面左上部の「公開」ボタンをクリックします。×を押して WordPress の管理画面に戻ります。



CTA（コールトゥアクション）の設定

Web サイトで訪問者に最終的に取ってほしい行動に合わせて CTA を設定します。

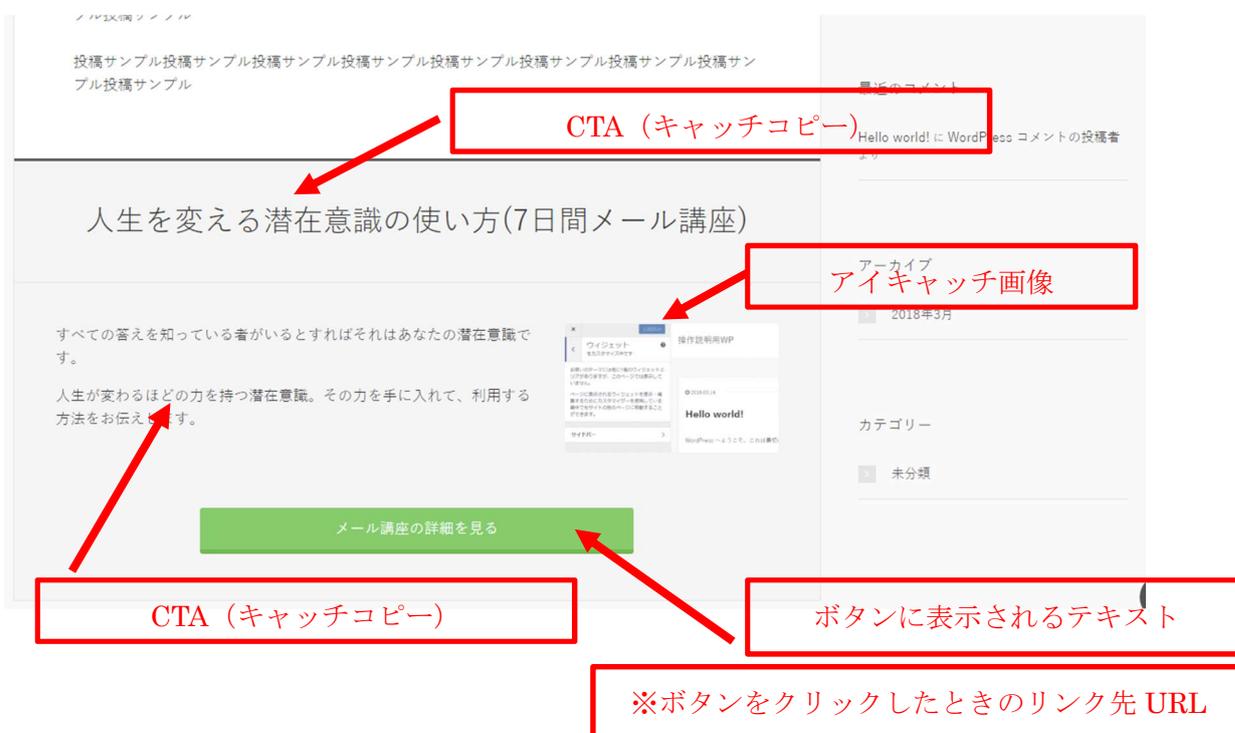
※CTA 作成機能はテーマによっては無い場合があります。

管理画面左側メニュー内の「CTA」をクリックします。CTA 画面が表示されるので上部の「新規追加」をクリックします。



CTA の作成画面が表示されるので必要事項に入力します。

下記がプレビュー画面になります。記事の直下に CTA が表示される仕様です。



テーマ（Xeory Base）のダウンロードとインストール

テーマのダウンロード

ここでは私がおすすめする無償で利用できるテーマのダウンロード手順について説明します。

おすすめするテーマは、バズ部が提供している「XeoryBase」になります。

<https://xeory.jp/>のサイトにアクセスしてテンプレート「XeoryBase」をダウンロードします。



Xeory ページの少し下にスクロールすると、ダウンロードボタンがありますのでクリックします。

※テンプレートは「Xeory Extension」と「Xeory Base」の2種類提供されていますが、ここでは Xeory Base の方をダウンロードします。



また似たような画面が表示されるので「無料ダウンロードする」をクリックしダウンロード

します。

初回ダウンロード時は、「無料ダウンロードする」をクリックすると、新規会員登録フォームが表示されるので会員登録をしてください。

会員登録後、ログインした状態で「無料ダウンロードする」をクリックするとテーマファイルをダウンロードできます。

ログイン

メールアドレス

パスワード

ログイン情報を記憶

ログイン»

- [新規ユーザー登録](#)
- [パスワードをお忘れですか？](#)

以上でテーマのダウンロードが完了です。

(補足)

ちなみに私の Web サイト「<https://kitajimatakahiro.com/>」は、株式会社 bridge さんが販売している OPENCAGE ブランドの「ハミングバード」を使用しています。テーマは有償でも無償でもどちらでも良いのですが、内部 SEO がしっかりと作られているテーマを選定するようにしてください。

GoogleSearchConsole 設定

Google 検索でのクリック数の解析や、Web サイトで重大なエラーや問題が発生した場合に通知を受け取るなど、Web サイトを運営していく中で役立つ機能を利用するために GoogleSearchConsole に Web サイトを登録します。

はじめに、下記の URL から GoogleSearchConsole にアクセスします。

<https://www.google.com/webmasters/>

Google ウェブマスター画面が表示されるので、「SEARCH CONSOLE」ボタンをクリックします。



SEARCH CONSOLE 画面が表示されるので、右上のログインボタンからログインします。



実践 Web 集客プログラム 集客用 Web サイト最適化初期セットアップマニュアル

ログインフォームが表示されるので、Google アカウントをお持ちであればご自身のアカウントでログインしてください。Google アカウントをまだお持ちでなければ、アカウントを作成してからログインしてください。



ログイン後、あなたの Web サイトの URL を「ウェブサイト」の入力フォームに入力します。

入力後、「プロパティを追加」ボタンをクリックします。



実践 Web 集客プログラム 集客用 Web サイト最適化初期セットアップマニュアル

次に Web サイトの所有権確認操作を求められるので、「別の方法」タブをクリックしてから「HTML タグ」にチェックを入れます。



チェック後、「1. 以下の meta タグをコピーして～」部分の**タグ内の値 (content="****"の***部分のみ)** をコピーします。

コピーした値 (content="****" の***部分のみ) を WordPress にインストールした AllInOneSeoPack プラグインの設定画面で使用します。設定画面内の「Google ウェブマスターツール」部分に入力します。[詳しい手順「AllInOneSEOPack Google ウェブマスターツール」はこちら](#)



WordPress での設定が完了したら、GoogleSearchConsole 画面に戻り、「確認」ボタンをクリックします。

● HTML タグ

メタタグをサイトのホームページに追加します。

1. 以下の meta タグをコピーして、サイトのホームページにある <head> セクション内の、最初の <body> セクションの前に貼り付

```
<meta name="google-site-verification" content="GXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX">
```

▶ 例を表示

2. 下の [確認] をクリックします。

確認状態を維持するために、確認が完了してもメタタグを削除しないでください。

● Google アナリティクス

Google アナリティクス アカウントを使用します。

● Google タグマネージャ

Google タグマネージャ アカウントを使用します。



認証が正常に完了すると、緑色のチェック画像と「続行」の文字が表示されるので「続行」をクリックします。

次にあなたの Web サイトのページ情報を GoogleSearchConsole に教えるための設定を行います。

SEARCH CONSOLE 画面の左側メニューから「クロール」→「サイトマップ」をクリックします。



次に画面右上の「サイトマップの追加/テスト」ボタンをクリックします。

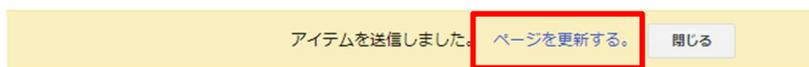


入力フォームが表示されるので「sitemap.xml」と入力し、「送信」をクリックします。



「ページを更新する。」をクリックします。

サイトマップ



自分のサイトマップ (0) 合計 (0 件)
このサイトのサイトマップが見つかりませんでした。

下記の画面のようにサイトマップのコンテンツが表示されることを確認します。
※エラーが表示された場合は適時対応してください

サイトマップ サイトマップの追加テスト

自分のサイトマップ (1) 合計 (1 件)

サイトマップのコンテンツ

すべてのコンテンツの種類	ウェブページ
■ 送信	15 送信
■ インデックスに登録済み	15 インデックスに登録済み

20
15
10
5
ウェブ

サイトマップ (すべてのコンテンツの種類)

すべてダウンロード 再送信 削除 表示 25 行 1 行中 1~1 行

#	サイトマップ	型	処理日	問題の件数	アイテム	送信	インデックスに登録済み
1	/sitemap.xml	サイトマップ	2018年3月17日	-	ウェブ	15	15

以上で、GoogleSearchConsole の設定が完了となります。

Google アナリティクス設定

Google アナリティクスを使用してアクセス解析をするため、Google アナリティクスにあな
たの Web サイトを登録します。

まず下記の URL にアクセスしてアクセス解析ツールである、GoogleAnalytics の画面を開
きます。

https://www.google.com/intl/ja_jp/analytics/#?modal_active=none

下記の画面が表示されるので右上のログインボタンから、Google アナリティクスをクリッ
クします。



ログイン画面が表示されるので、Google アカウントでログインしてください。

※Google のアカウントをまだ持っていない方は新規で登録してください



実践 Web 集客プログラム 集客用 Web サイト最適化初期セットアップマニュアル

下記の画面が表示されるので画面右側の申し込みボタンをクリックします。



次に下記の新しいアカウントを登録する画面が表示されます。
ここでアクセス解析をしていきたいホームページの情報を入力します。

項目が複数あるので上から順番に見ていくと、

【アカウント名】これはあなたが所属している会社名や、組織名などを入力してください。

例) 株式会社▲▲製作所

【ウェブサイト名】ここには、アクセス解析をするホームページの名前を入力してください。

例) 株式会社▲▲製作所のホームページ

例) WEB 果実店のネットショップ

【ウェブサイトの URL】ここには、アクセス解析をするホームページの URL を入力してください。

例) <http://www.test-page.com>

【業種】ここではアクセス解析をするホームページの業種を選択してください。

【レポートのタイムゾーン】ここではアクセス解析情報の時間軸となるタイムゾーンを選

択してください。

※国内向けのホームページであれば日本 ((GMT+09:00) 東京) で大丈夫です。

すべて入力したら画面下の「トラッキング ID を取得」 ボタンを押してください。

利用規約画面が表示されるので同意します。

画面内の赤枠に表示されているトラッキングコードをコピーして、WordPress にインストールした All In One SEO Pack プラグインの設定画面の「Google 設定-Google アナリティクス ID :」 に設定してください。

設定画面内の「Google アナリティクス ID :」 部分にコピーしたトラッキングコードを貼り付けて登録します。[詳しい手順「Google 設定」はこちら](#)



プロパティ

トラッキング ID

UA-11111111-1

ステータス

過去 48 時間にトラフィックデータを受信しています。

0
現在のアクティブ ユーザー数です。詳しくは、リアルタイムのトラフィックレポートでご確認ください。

テストトラフィックを送信 ?

ウェブサイトのトラッキング

グローバル サイトタグ (gtag.js)

このプロパティで利用できる Global Site Tag (gtag.js) トラッキングコードです。このコードをコピーして、トラッキングするすべてのウェブページの <HEAD> 内の最初の要素として貼り付けてください。ページにすでに Global Site Tag が配置されている場合は、以下のスニペットの **config** 行のみを既存の Global Site Tag に追加してください。

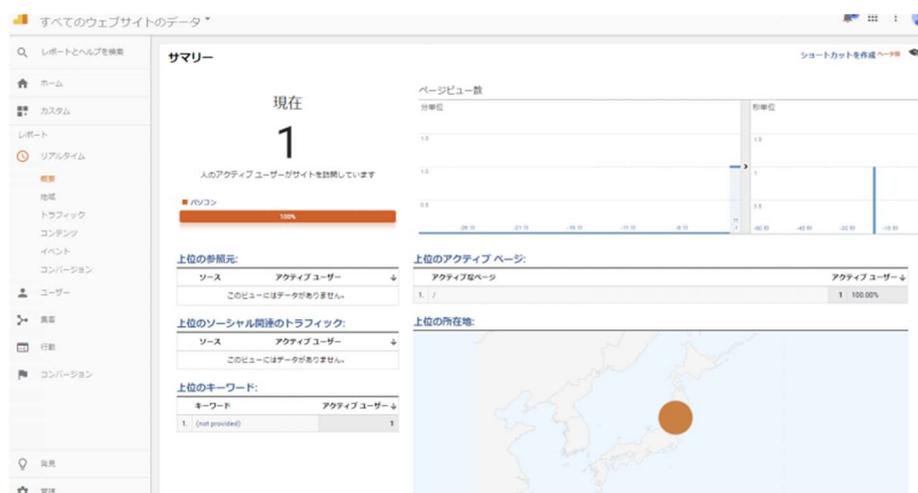
```
<!-- Global site tag (gtag.js) - Google Analytics -->
<script async src="https://www.googletagmanager.com/gtag/js?id=UA-11111111-1"></script>
<script>
  window.dataLayer = window.dataLayer || [];
  function gtag(){dataLayer.push(arguments);}
  gtag('js', new Date());

  gtag('config', 'UA-11111111-1');
</script>
```

Global Site Tag (gtag.js) を使用すると、Google のサイトの測定、コンバージョントラッキング、リマーケティング

改めて Google アナリティクスの実タイム画面をみます。

※リアルタイム画面は、アナリティクス画面の左メニュー内にあります。



リアルタイム画面を開きながら、あなたの Web サイトのトップページにアクセスしてみます。

アクセス情報がカウント（表示）されていることが確認できれば設定完了となります。

チェックシート

作業項目	チェック
WordPress の初期設定	
URL の変更 (https 化)	
サイトタイトルの設定	
更新情報サービスの登録	
ディスカッションの設定	
パーマリンクの設定	
テーマのインストール	
プラグインのインストール	
プラグインの設定	
All In One SEO Pack	
Google XML Sitemaps	
PuSHPress	
WordPressPingOptimizer	
WordPress Popular Posts	
WP Multibyte Patch	
AddQuicktag	
Contact Form 7	
テーマのカスタマイズ	
CTA の設定	
テーマ (Xeory Base) のダウンロード	
GoogleSearchConsole 設定	
Google アナリティクス設定	